

案内

認知症サポーター養成講座

認知症について正しい知識を持ち、本人や家族を見守る認知症サポーターを養成する講座を開催します。

●日時 11月26日(木)／午後1時30分～3時30分

●会場 認知症コミュニティルーム(レジデンス楽市1階)

●定員 20人 ※先着順

●申込期限 11月12日(木)まで

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎高齢福祉課 内273

福島県議会議員一般選挙投票所の変更

次の投票区で、投票所が変更になります。必ず投票所入場券をご確認ください。

●投票所変更箇所 ▼第6投票区 りぶらん(市立図書館)

※マイタウン白河が改修工事のため変更 ▼第16投票区 白四小 ※サンフレッシュ白河がふくしま駅伝の中継所となるため変更

●投票日 11月15日(日)

●市選挙管理委員会 内2510

奨学資金・大学入 学一時金

「白河市奨学資金・大学入学一時金」の申請を、次によう受け付けます。

《奨学資金貸与》

●資格 次のすべてに該当する方

①平成28年度に高等学校、高等専門学校、大学および専修学校に進学を予定している方
または在学している方

②市内に引き続き1年以上住

8

国際理解講座

カナダ人講師を招き、ゲームを通して国際理解を深める講座を開催します。

●日時 11月28日(土)／午前10時～11時30分

●会場 本庁舎正庁(5階)

●内容 ▼テーマ 「外国人とのコミュニケーション」

▽講師 福島県国際交流協会所属国際交流員 大屋直美氏

●定員 60人 ※先着順

●参加料 無料

●申込期間 11月16日(月)～25日(水)

●申込方法 電話またはEメールでお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先 市国際交流協会事務局(本庁舎企画政策課内) 内2326 / Eメール kokusai.korju@city.shirakawa.fukushima.jp

狩猟解禁

11月15日から平成28年2月15日まで(猪は3月15日まで)狩猟が解禁になります。期間

中、狩猟者はルールを守り、周りに十分注意して狩猟をしてください。なお、狩猟ができるのは、狩猟免許と登録証を所持する方に限られ、それ以外の方が狩猟すると法律で罰せられます。

●本庁舎農林整備課 内2227

児童虐待防止推進月間

11月は児童虐待防止推進月間です。児童虐待は、社会全体で解決すべき問題です。虐待と思ったら、すぐに連絡してください。

●全国共通ダイヤル(お近くの児童相談所を案内します) ☎189 ※連絡は、匿名で行うことも可能で、秘密は厳守します。

●本庁舎こども課 内2733 / 家庭児童相談室 ☎②1150 / 県中児童相談所白河相談室 ☎②5648

人権なんでも相談

12月4日から10日までの「人権週間」にちなみ、特設相談所を開設します。相談は

無料で予約の必要はありません。各地域の人権擁護委員が相談に応じ、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

●日時・会場 ▼12月4日(金) 午前10時～午後3時 / 東公民館(東釜子) ▼12月5日(土) 午前10時～午後4時 / 中央公民館(天神町)、午前10時～午後4時 / 表郷公民館(表郷番沢)、午前9時～正午 / 大信農村環境改善センター(大信町屋)

※委員のほか、中央公民館は司法書士、東庁舎は弁護士(午前のみ)が相談に応じます。

●白河人権擁護委員協議会(白河法務局内) ☎②1201

県民手帳・県勢要覧販売中

▽県民手帳(横罫版・カレンダー版) 各500円

▽県勢要覧 1,500円

●申込先 本庁舎企画政策課 ※各庁舎等で購入を希望する場合は、事前に同課までご連絡ください。

●本庁舎企画政策課 内2327

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日から25日までは、「女性に対する暴力をなくす運動」の推進期間です。配偶者からの暴力やストーカー行為、セクシャルハラスメントなど、どのような暴力でも我慢せず、相談してください。

●内閣府DV相談ナビ(お近くの相談窓口を案内します) ☎0570-10155210

肢体不自由者巡回相談会

●日時 12月8日(火)／午後1時～3時

●会場 棚倉町保健福祉センター(棚倉町大字棚倉)

●内容 義肢など補装具の処方、診察および医療相談

●担当医師 白河厚生総合病院副院長兼整形外科部長 鈴木幹夫氏

●持参品 身体障がい者手帳(お持ちの方)および印鑑

●申込期限 12月1日(火)まで

●本庁舎社会福祉課 内2775 東 ☎③3146

糖尿病予防月間

11月は糖尿病予防月間です。糖尿病は、血糖をコントロールするホルモンの分泌や働きが低下するもので、血糖値が上昇し、様々な合併症を引き起こす原因となっています。市では、糖尿病の早期発見を目的に、糖負荷検査を実施しています。詳しくはお問い合わせください。

●健康増進課(中央保健センター) ☎⑦2112

案内

特定疾患見舞金

特定疾患患者と慢性透析療法を受けている方に、年間3万円の見舞金が支給されます。今年度、まだ申請を行っていない方は、印鑑・特定疾患医療等の受給者証(平成27年4月1日現在での資格が確認できるもの)・本人または保護者名義の預金通帳を、本庁舎社会福祉課または各庁舎地域振興課へお持ちください。

- 申請期限 12月28日(月)まで
- 本庁舎社会福祉課 内2714

まちかど伝言板

中心市街地活性化事業

ミニコンサート

- フルート 佐川進一
- 日時 11月15日(日)/午後4時~5時
- 会場 えきかふえSHIRAKAWA(郭内)

- 入場料 無料
- 福島県ミニコンサート実行委員会 遠藤 ☎090-1496-7610

五箇まつり

- 日時 11月15日(日)/午前8時30分~午後3時30分
- 会場 五箇市民センター(田島)
- 内容 大谷五花村川柳句会表彰式、農産物即売会、新米手すくい取り大会、米つとばし大会、ステージ発表など
- 住みよい五箇をつくる会 齋藤 ☎2719

第112回白河謡曲会 素謡会

- 日時 11月15日(日)/午前10時~午後3時15分
- 会場 中央公民館(天神町)
- 内容 謡曲などの発表
- 入場料 無料
- 白河謡曲会 福田 ☎1421
- 日時 11月20日(金)/午前10時~午後4時30分 ※予約不要

無料調停相談

- 日時 11月20日(金)/午前10時~午後4時30分

- 参加料 500円
- おもてごう里山クラブ 山寺 ☎080-5740-1274
- 旗宿そば粉の手打ち新そばのほか、農産物の販売などを行います。ぜひご来場ください。
- 日時 11月21日(土)・22日(日)/午前10時~午後3時
- 会場 関の森公園(旗宿)
- 旗宿そば生産組合 小松 ☎090-3126-8024

新そばまつり

日本一遅い山開き 天狗山登山

- 日時 11月23日(祝)/午前9時から(8時30分受付開始)
- 集合場所 すばーく表郷(表郷番沢)
- 内容 天狗山の登山、記念品および豚汁の提供、ゴール後お楽しみ抽選会等 ※当日受付で、抽選券を配付します。

- 参加料 500円
- おもてごう里山クラブ 山寺 ☎080-5740-1274
- 大正琴を聞きながら、野出島産そば粉の手打ち新そばを、ぜひご賞味ください。
- 日時 11月23日(祝)/午前11時から
- 午後0時30分から ※午前・午後の部とも100食
- 会場 東多目的研修センター(東下野出島)
- 参加料 前売 1,500円(新そば、天ぷら、郷土料理) ※当日は300円増
- 野出島地域活性化プロジェクト 本宮 ☎090-4885-2924

新そば交流会

- 日時 11月23日(祝)/午前9時から
- 会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)
- 内容 ▽講演 「宮沢賢治に学ぶ 人間学としての大成」
- ▽講師 顧問 渡邊五郎三郎氏
- 入場料 500円(塾生無料)
- (公財) 立教志塾 ☎1427

黒羽矯正展

- 日時 11月23日(祝)/午前9時~午後3時
- 会場 黒羽刑務所(栃木県大田原市)
- 内容 裁判員制度の紹介、刑務所内の見学、刑務所作業製品の展示・販売、給食の有

立教志塾講演会

- 日時 11月29日(日)/午前11時から
- 会場 大統寺(馬町)
- 内容 ▽蝶花楼馬楽師匠の落語会 ▽浅草老舗「駒形どぜう」主人のそば打ちと食事会
- 定員 各60人
- 参加料 無料
- 申込期限 11月20日(金)まで
- 大統寺 ☎2723

新そばと落語



市長の手裡え帖
鈴木 和夫

『東北のミケランジェロ』

何年前か前、京都に出張した折のこと。宿の仲居さんに、はんなりとした京言葉で、「どちらからきはりました」と聞かれた。東北なまりで「福島県の白河です」。「大災害で大変でしたな」。心にしみいる響きだった。ひよんなことから、彼女が「白河周辺に、狛犬の石像をつくりはった小松はんとかいうお方はいらはりませんでしたか」と言う。多分小松寅吉のことでしょうと答えたが、これには驚いた。仲居さんは狛犬に興味があり、福島県の南部に傑作を残した名石工のことを覚えていたらしい。

私は小松寅吉と狛犬のことはよく知らなかった。ただ、郷土史家で石川町助役をされた吉田利昭さんから、芸術性・独創性の高い名人がいたことを教えて頂いたことで、いくらか知識があった。人に歴史あり。寅吉には小松利平という師匠がいた。1804年、信州高遠藩に生まれる。今、高遠町は伊那市になっている。高遠藩は、会津松平家の祖、保科正之がここで成長し、幕府の重鎮となったことで知られる。あでやかな桜でも有名。だが小藩で目立った産業もない。藩は長子以外の男子に石切り技術を習得させ、全国へ出稼ぎに出す。稼ぎの一部を「運上金」として納めさせた。中には他国に定住し家庭を持つ石工もいた。藩は脱藩者を連れ戻す「目付」を置き厳しく取り締まった。

小松利平も脱藩者で、浅川町の福貴作に住みついた。ここは細工しやすく摩耗しにくい石の産地だった。利平が工房を構えたのは、天保年間(1830~44)の頃。目付に見つかからないよう細心の注意を払ったと推測される。事実、利平は生涯自己の名前を刻むことはなかった。利平作と推定されるものは多い。中でも石川町沢井八幡神社の「波乗り兎」は面白い。左右異なる波にちよこんと乗る兎はなんとも可愛い。傑作は、棚倉町八槻都々古別神社の狛犬。全く違った顔をした阿像と吽像が、森閑とした境内に鎮座する。全国を股にかけた高遠石工は、型にはまらない技と美の感覚を身につけたのだろう。利平は、寅吉・和乎へと続く「小松工房」の創始者であり、高い技術と強い精神を持つ石の芸術家だった。

寅吉は1844年石川町に生まれ、利平のもとに弟子入り。才能と努力で頭角を現す。小松家の養子となり工房を継ぐ。寅吉は細かな模様や透かし彫りの技巧を得意とした。また、狛犬は普通「蹲踞」しているが、雲に乗り空を飛ぶ「飛翔獅子」というスタイルを考案した。白河市東の鹿島神社の飛狛犬はその代表作。那須雲照寺には大きな観音像がある。慈愛に満ちた顔と細密を極めた彫刻。裏に「彫刻人小松布孝」と刻まれている。単なる石工ではないぞ、との誇りが伝わってくる。石川街道沿いの借宿羽黒神社。参道に意匠をこらした大きい柵と開き扉がある。その向こうに松平定信の詠んだ歌碑がある。だが、主役の歌碑が、脇役の前でかすんで見えるように見える。歌碑は東京の

石屋に、自分にはこれを囲む柵が任された。誇り高い大職人はこれに腹を立て、歌碑を覆ってしまったのではと云われている。反骨の士でもあった。

寅吉の技を受け継いだのが小林和乎。1881年石川町に生まれ、工房に丁稚として入る。寅吉の工芸技術を学びめきめき腕をあげた。その実力は兄弟子を凌いだ。寅吉は実子に跡目を継がせた。力量で勝る和乎の心中は複雑だったであろう。だが和乎は「親方は奥州一の石工だ。俺は一番弟子」と言っていた。一人には確執もあったが、強い師弟愛で結ばれていた。和乎は師匠の飛翔獅子を継承しつつ、独自の味わいを出した。石川町石都々古和氣神社の狛犬は代表作。和乎は三人の子を亡くした。吽像に二頭の子獅子が戯れ、少し大きめの子は母の横で同じ方向を睨む。愛嬌のある母の顔と無邪気な子の表情に心がなごむ。親子像は愛とメルヘンの世界に誘う。流鏝馬で知られる古殿八幡神社の狛犬も、デザイン性、彫の細かさ、ユニークな尾の形で評価が高い。ルネサンスの華ミケランジェロも、石工の工房で腕を磨いた。小松工房は「東北のミケランジェロ」を生んだといえる。私は、足元にある歴史や文化を見つめ直し、これを磨くことが大事と云い続けてきた。近代化・効率化の中で、地域の伝統や文化への関心が薄れ、消えようとしているものもある。地方創生とは、わが故郷をよりに知ることから始まる。自分たちが暮らしている土地の記憶に耳を傾けることが、未来の扉を開く鍵になると思う。